

審議会等会議録

審議会等の名称	令和 8 年度 第 1 回山口市健康づくり推進協議会
開催日時	令和 8 年 7 月 23 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	山口市保健センター 集団検診室
公開・部分公開の 区分	公開
出席者	郭泰植委員、安元重実委員、遠藤潤一委員、部坂理恵子委員、若崎敬子委員、 堀江寛子委員、原田栄委員、藤原健一委員、眞城信委員、井上博文委員、 山崎智仁委員、兼安真弓委員、増本好夫委員、徳永義子委員、矢元謙吾委員、 春永亜由美委員、紀村修一委員、石井恵美子委員、 高橋幸広委員（代理:藤重久美子氏） （19 名）
欠席者	目昭仁委員、長崎孝司委員、佐藤光恵委員、佐藤博章委員 （4 名）
事務局	健康福祉部長、健康増進課長、同課副参事 4 名、同課主幹 2 名、同課副主幹 2 名、 同課主査 1 名 （11 名）
議題	1 開会 2 議題 （1）令和 7 年度健康づくり計画の取組報告 （2）令和 8 年度健康づくり計画の取組計画 （3）委員所属団体と連携した取組について
内容	1 開会 【委嘱状交付】 【健康福祉部長挨拶】 【委員及び事務局の紹介】 別紙名簿のとおり 【会長及び副会長の選出】 2 議題 （1）令和 7 年度健康づくり計画の取組報告 資料 1 事務局から、資料に沿って説明。 【質疑応答】 ＜A 委員＞ 1 6 ページの新型コロナワクチンの接種率が令和 6 年度 25 %から令和 7 年度は 13.5 %と減少している。これは市民の皆さんにとって新型コロナが少しずつ 脅威ではなくなっている、金銭的なことも影響して減っていると推測してい

る。一方、成人用肺炎球菌ワクチンの接種率は22.9%から41.3%と上昇している。何か特別な取組等があったのか教えていただきたい。

【事務局】

肺炎球菌ワクチンの接種者数の減少については、令和5年度中に経過措置（65歳以上で5歳刻みの方が対象）が終了し、対象者が65歳のみになったことが考えられる。その中でも接種率が高くなっているのは、高齢者の接種に対する意識が高くなっていることが考えられる。

【B委員】

肺炎球菌ワクチンについては、CMの影響もあるような印象がある。市民の方も知ってきた。新型コロナワクチンは若い世代は打つことによる副反応への懸念が強いため、あまり打たない。上の世代も金銭的な負担が増加しており、効果があまりないのではないかという考えも一部で出ている。

【事務局】

補足として、新型コロナワクチンの接種費用の自己負担金が令和6年度2,100円から令和7年度4,680円とかなり高くなっていることで接種率が低くなっていると考えられる。

（2）令和8年度健康づくり計画の取組計画について 資料2

事務局から、資料に沿って説明。

<質疑応答>

【B委員】

7ページの健診を受けている市民の割合が令和4年度74%と高い印象を受けるが、特定健診や健康診査を受けている市民の割合なのか。山口県は全国的に健診受診率が低いと言われているが。

【事務局】

当該数値は特定健診等の受診実績に限定したものではなく、山口市まちづくりアンケートにある「1年に1回健診を受けているかどうか」の質問に対しての回答数値。特に区別はなく、職場検診、人間ドック、がん検診等、市民が何らかの検（健）診を受けているかを示す指標になる。

（3）委員所属団体と連携した取組について 資料3

事務局から、資料に沿って説明。

【事務局】

委員所属団体と連携した取組では、対象者の健康課題など主催者と共有し、具体的な内容を検討しながら、栄養、食生活、身体活動・運動、睡眠、検診受診、女性の健康づくりなど幅広いテーマで周知啓発を進めている。山口市の現状、課題として、20歳から40歳代の実践率が低い傾向にあり、仕事や子育て等で忙しく、運動する時間を持ちにくい世代であることも考えられることから、働き世代

を中心に生活スタイルに合った運動習慣や身体活動の定着を促していくため、今年度は特に身体活動・運動に力を入れていきたいと考えている。働き盛り世代をはじめ、市民の皆様が日常生活の中で運動や身体活動に取り組むきっかけとなるなど、委員の皆様の所属団体において連携した取組やご協力いただける機会があれば、忌憚のないご意見をお願いしたい。

<ご意見>

【A委員】

県立大学が色々取組をされているように、学芸大学でもチラシやパンフレットを置かせていただける機会をいただけると良い。

また、学芸大学の学生の多くが教職員を目指しており、県内で幼稚園、保育園、こども園、小中高の教員を目指している。大学生のうちに健康に対する意識を持って、自分のことだけでなく、将来子どもたちに健康の良さを伝えていって欲しいと感じている。

今、子どもたちの中で、身体活動、運動で「三間（時間空間仲間）の減少」というのがよく言われている。地域の保護者の方からも「遊ぶ時間がない。遊ぶ場所がない。遊びたくても友達がいない」とよく聞く。こうした状況を踏まえ、6月と7月に地域の子どもたちを大学に呼んで、学生と一緒に運動遊びするイベントを開催した。後期も2回ほど計画をしているので、もしコラボできそうなところがあれば大学生も一緒に入って、地域の健康づくりについて一緒に考えられたら良いと思う。

【事務局】

大学や地域の現状や課題を共有し、企画段階から一緒に協議させていただき連携した取組を進めていきたい。

【C委員】

県立大学では障がいのあるお子さんたちの健康、体力づくり、運動習慣の形成に関する研究をしていて、AIを活用した身体認識ゲームを用いた運動支援に関する研究に取り組んでいる。障がいのあるお子さんたちに向けたものが、高齢者や幼児の方にも利用いただける。健康づくりに役立つのではないかと思ったので紹介させていただきたい。

1つ目は、画面上の動きに合わせて身体を動かすことにより、楽しみながら運動できる仕組みであり、スマートフォンとテレビをつなげれば家庭でもできる。昨年マルシェで実施し、3歳から80歳の方にゲームで遊んでいただいた。

2つ目は、ポーズをとってモデルとの体の一致具合をAIが採点してくれるもので、脳（認知）の部分にも働きかけられるため、高齢者や子どもにも遊んでいただける。9月に周南市の高齢者施設で行う予定にしている。地域で希望があれば声をかけていただきたいと思います。

【事務局】

活用を希望される委員さん、団体がある場合は、調整を行うことが可能であるため、声をかけて欲しい。

【D委員】

昨年度、本学の食堂に健康増進課の管理栄養士や保健師に来ていただいて学生へ食生活の啓発をしていただいた。保健室へも連携をとっていただいている。今年度も学生食堂で昼食時間帯に啓発したいと考えている。アンケートから見えた課題を相談しながら、継続した取組が一緒にできたらと思う。

【事務局】

第5次食育推進基本計画において大学との連携を重点的な取組として位置づけていることを踏まえ、今年度も企画段階から連携し、若い世代に対する効果的な食育の取組を推進していきたい。

<質疑応答>

【B委員】

ゲートキーパーとはどのようなものか。どのように育成していくのか教えていただきたい。また現在何人くらいがいて、認定された資格があるのか。

【事務局】

ゲートキーパー養成講座は、臨床心理士や保健師等が講師となり、地域や関係団体、職域に出向いてこころの健康づくりに関する知識や相談支援の方法といった関わり方について学べるもの。資格の取得はなく、地域での見守り支援者を養成するもの。人数は、令和7年度は地域関係団体で511人、職域で20人、重点地区で187人、市の職員を対象に講座を開催し、161人の方にゲートキーパーになっていただいた。

【B委員】

令和8年度の取組のなかで庁舎を照らす取組をしていた。何の活動だったか再度教えていただきたい。

【事務局】

紹介させていただいたスライドは世界禁煙デー、禁煙週間に実施した取組になる。

【B委員】

山口市では他にライトアップで健康づくりに繋がるような啓蒙活動があるか。

【事務局】

市単独ではなく、県や関係団体とタイアップして取り組んでいる。ピンクリボン月間ではピンク、子どもの関係ではオレンジ、障がいの関係ではブルーライトアップなど。

【B委員】

山口市が企画しているものはないか。

	【事務局】 市が単独で実施しているものはない。 【B 委員】 2 月 2 2 日が頭痛の日で、熊本市が熊本城でグリーンアップ啓蒙活動を行っている。山口市でも瑠璃光寺五重塔を提案することができないか。 【事務局】 ライトアップについては、ここで即答することができないため、確認させていただきたい。 【E 委員】 ライトアップについて、市民の皆さんへの周知はされているのか？周知がされていないと何のためのライトアップか分からない。市民に対する周知を徹底する必要があると感じた。市内の観光スポット等とタイアップした啓発により、町全体が色を使ってアピールすると市民に対しての周知にも繋がるのではないかとと思う。 歩数アップサポート、弱点解決ブック等知らなかった。せっかく良い取組があっても知られていない部分もあると思う。もっと色々なところでアピールする必要があるのでは。薬剤師会としても健康をサポートする拠点として、しっかりアピールしていきたい。また、薬局や病院等だけではなく色々な所で連携して取り組んでいく必要があると感じている。 【事務局】 市でも広報や SNS など様々な方法で事業周知を行っているが、行政からの広報のみでは情報が届きにくいとため、委員所属団体及び関係機関と連携しながら積極的に取り組んでいきたい。引き続き、ご協力やご意見をいただきたい。 【事務局】 本日いただいたご意見は、今後の保健事業に生かしていきたい。次回の開催について令和 9 年の 7 月頃の予定としている。本日、皆様と協議した「委員所属団体との取組」について、市及び各団体の取組状況の報告をさせていただきたい。また、所属団体と連携して取り組むことができる内容については、配布した確認表に記入の上、8 月 6 日（木）までにご提出いただきたい。 長時間のご審議、ありがとうございました。 6 閉会
会議資料	1 令和 8 年度 山口市健康づくり推進協議会次第 2 山口市健康づくり推進協議会委員名簿 3 令和 7 年度山口市健康づくり計画の取組報告…資料 1

	4 令和8年度山口市健康づくり計画の取組計画…資料2 5 委員所属団体と連携した取組まとめ…資料3 6 「委員所属団体と連携した取組」における確認票
問い合わせ先	山口市健康福祉部 健康増進課 TEL 083-921-2666